



遠大勵志

「山口和士」先生 進路講演会開催

今年度もまた、全国各地で講演活動を行い、たくさんの生徒や先生方に力を与えておられる山口和士先生(日本進路指導推進協議会会長、関東学院大学特任教授)をお迎えしました。



14日(火)には6,7時間目に黒陵会館において、3年生全員に対して「これからの世界を拓く年若き同志達へ」- 未来を拓く10の指針 - というテーマで講演頂き、その後16:30から中教室1において、難関大学志望者を対象に「地方国公立



大学と難関大学はどう違うのか」- 世界を拓く柔軟性と多様な戦略をもつ難関大学 - というテーマで講演頂きました。

●3年生対象進路講演会

この講演の中では、教科書を大事にし徹底して読みこむこと、文系では数学・理系では国語が鍵を握るので手を抜かないこと、模擬試験の答案をしっかりと見



て弱点を克服すること、志望大学の過去問題に取り組むこと、センター試験のマークだけではなく記述にしっかりと対応す



ること、授業を大事に勝負することなどを私たちに伝えてくれました。

●難関大学対象進路講演会

この講演では、難関大学の魅力について細かく具体例を挙げて頂きながら、参加した50名あまりの生徒に熱心に語って頂きました。大変刺激を頂いた講演でした。



翌15日(水)には1,2時間目に黒陵会館において、2年生全員に対して「これからの世界を拓く年若き同志達へ」- 未来に繋がる10の指針 - というテーマで講演頂きました。

この講演では、高い目標をもつことの大切さ、どんな状況でも帰宅したら必ず1時間夕食前に学習すること、徹底して授業を大事にすること、古典と英語は予習中心・数学は復習中心で考えながら取り組むこと、計画をたてることの大切さなどを話して頂きました。

先生には、2年生と3年生に3つの講演をしていただきましたが、この3つの講演に一貫していた内容は、「自分から出向くことの大切さ、勇気を持つことの大切さ」だったと思います。山口先生から頂いた熱い想いを、決して冷ますことなく、時々思い起こしながら、みなさん自身のモチベーションを高めることにつなげて欲しいと願います。

山口先生には、お忙しい中ありがとうございました。感謝申し上げます。

【お詫び】

校長通信 No.13の中に間違いがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

・男子陸上の4×100mリレーのメンバー

新田隼大、高杉時史、千葉晃誠、菊地琳太郎 でした。

・高総体日程の陸上の場所は、北上総合運動公園でした。

本当に申し訳ありませんでした。